

12/22
(火)

行人岳運営委員会が寄付 景観整備などに役立てて

12月22日、行人岳不動明王廟運営委員会の阿多靖直委員長が町に寄付金を贈りました。

これは、12月26日の町道行人岳線開通日を記念して阿多委員長が申し出たものです。

阿多委員長は「町道整備されて4年が経過した。行人岳への観光客が増え、町の名所として定着している。寄付は景観整備や産業振興など町のために役立ててほしい」と話し、川添町長に目録を手渡しました。



川添町長へ目録を手渡す阿多委員長(写真右)

1/7
(木)

町内各地で鬼火たき 無病息災 炎に託す



燃え上がる炎を見守る住民ら

1月上旬、町内各地で鬼火たきがあり、集まった住民らは新型コロナウイルスに感染しないようにと無病息災を願いました。

7日正午過ぎ、火ノ浦自治公民館の敷地内では、竹やスギの木で四方を組んだ高さ約3メートルのやぐらに点火。正月飾りが投げ込まれ、「パンパン」と竹が割れる破裂音を鳴らしながら一気に燃え上がりました。住民らは「おめでとう」「今年もよろしく」と新年のあいさつを交わしながら暖を取っていました。

同公民館長の野澤逸雄さんは「コロナが収束して、皆が元気に過ごせるようになれば」と話しました。

1/9
(土)

町内全域で積雪 3年ぶりの雪景色



雪合戦を楽しむ子どもたち

1月8日から9日明け方にかけて、県内は厳しい冷え込みで雪が積もり、本町でも全域がうっすらと雪化粧しました。

町内全域での積雪が確認されたのは平成30年1月以来3年ぶり。雪だるまを作る子どもたちや除雪作業をする住民の姿が見られました。

今回の降雪で農作物への大きな影響はありませんでしたが、国道389号線や県道葛輪瀬戸線、県道平尾川床線などでチェーン規制が実施され、交通に支障を来しました。